

薬物関連問題相談事業

協働の相手(名称)	ダルク、ナラノン等の自助グループ		
事業年度	平成20年度		
県の担当部署	精神保健福祉センター	直通電話	0952-73-5060
県の予算額	639千円	協働の形態	事業協力

目指す姿

薬物乱用・依存に対する関係者の研修・家族教室のプログラムの中で、自助グループからの体験発表やメッセージを伝えてもらうことによって、関係者や家族へ知識普及、当事者に対する理解を図っていく。

事業概要

薬物乱用防止の一環として、薬物関連問題に関する知識の普及、相談指導等、総合的な対策を実施することにより、薬物関連問題の発生予防・早期対応とともに、当事者や家族の回復支援を行う。

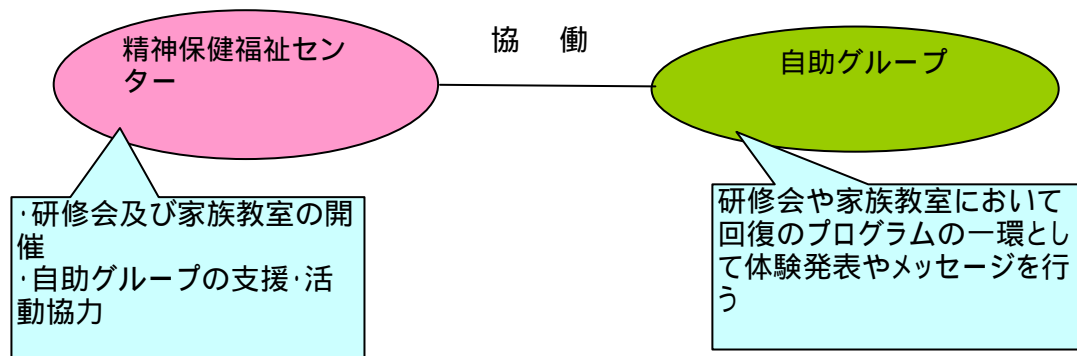
協働の背景

関係者や家族への知識普及において、当事者の理解を促すためには、依存症という疾病の理解といった理論と同時に、当事者の体験発表やメッセージを伝えることが非常に有効である。

また、当事者にとっては、体験発表やメッセージを積み重ねることが自助グループの活動の理解に繋がり、自らの回復にも結びつく。そして、当事者の社会参加にも結びついていく。

そこで、事業協力としての協働を実施し、研修会や家族教室でそのような場を設け、協働で取り組むこととした。

協働の内容



協働の成果

研修などの実施後のアンケートでも、「当事者の体験発表・メッセージが非常に心に残った」「理解が深まった」「改めて自分たちの活動について振り返ることができた」と好評であり「次回にも是非入れてほしい」という要望も強い。
一方、当事者からも「当事者及び自助グループへの理解の機会を与えてもらってよかった」との声が多い。お互いの目的がうまく噛合っているの効果があがっていると感じている。

県民のメリット

一般県民にまではまだ届きにくい面はあるものの、関係者の間には薬物関連問題について予防の観点だけでなく、当事者に対する理解や回復についての認識が深まってきている。

今後の展望

自助グループの活動方針を大切にしながらの協働を進めていきたい。